

(セミナー名称)		
2019年度第1回山形県がん化学療法セミナー		
担当者氏名：富岡佳久		所属：大学院薬学研究科 がん化学療法薬学分野
内線： (795)6851	e-mail：	
1. 計画の名称		
2019年度第1回山形県がん化学療法セミナー		
2. 関連分野		
がん化学療法		
3. 実施報告		
<p>2019年4月21日大手門パルズにて、2019年度第1回がん化学療法セミナーを開催した。</p> <p>特別講演として、山形県立中央病院 緩和医療科 神谷浩平先生から「在宅緩和医療普及のために必要なこと」と題しご講演を頂いた。</p>		
4. 実施年月日・実施担当者・参加人数		
<p>2019年4月21日(日)</p> <p>東北大学 大学院薬学研究科 がん化学療法薬学分野 教授 富岡佳久</p> <p>58名が参加</p>		
5. 所要経費		
支出簿参照		
6. 成果		
<p>山形県立中央病院 緩和医療科科長 神谷浩平先生から「在宅緩和医療普及のために必要なこと～オピオイドによるがん疼痛治療の基本から応用まで～」と題し、前半では持続皮下投与 (CSCI)の有用性や薬液調整について拝聴した。本セミナーではPCA 機能付き携帯用小型シリンジポンプが準備され、在宅緩和医療での使用場面を想定した説明を受けた。後半では痛みの治療方法についてご講演頂き、がん疼痛治療に用いられる新規オピオイドとしてトラマドール、タペンタドール、ヒドロモルフォン、メサドンの各薬剤の特徴や注意すべき点について拝聴した。</p> <p>講演では、静脈路確保を必要としない持続皮下投与について患者側と医療者側双方の利点や皮膚発赤・硬結などに注意する薬剤について丁寧に解説頂いた。今回のセミナーでは、携帯用小型シリンジポンプを操作する貴重な体験が出来、大変有意義な研修会となった。</p>		

【当日の会場の様子など、写真を添付ください】

